

徳島大学医学部医学科「診療参加型臨床実習(指定学外実習&選択実習用)」 指導医評価表

学生氏名 _____ 実習期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 月 _____ 日

評価者氏名 _____ 実習医療機関 _____

1. 出席の評価

() 問題なし () 不足

2. 学生の診療助手としての知識、技能、態度について実習期間を振り返り、

①学生に直に接しながら観察した結果

②学生と行動を共にした医師、看護教員、その他の病院職員、学生が担当した患者さんなどから収集した情報

③カルテ、指示録、体温板、検査伝票、受診願などの医療記録を適宜監査した結果

などをもとに評価し、以下の選択肢のなかで最も近い状況にチェックしてください。

この評価とポートフォリオファイル等をもとに医学部教務委員会で成績判定を行います。

I. 基礎知識の量と理解度

() 評価しない(当科では評価対象外)

() 1. 全く不十分で、現状では将来に差し障りがある

() 2. 不十分な点が多く、一層の改善が必要である

() 3. おおむね把握出来ていたが一部に不十分な点があった

() 4. 知識の量、理解度ともに優れ、全てをよく把握していた

() 5. 完全かつ正確で、医学生の水準を超えていた

II. 医療面接(病歴聴取)

() 評価しない(当科では評価対象外)

() 1. 病歴は医学的でなく、重要事項を聴取できていなかった

() 2. 病歴は断片的で、聴取できていない重要事項も幾分かあった

() 3. 病歴はおおむね聴取出来ており、得た情報は有用であった

() 4. 病歴はほぼ完全で、重要な問題点をおおよそとりあげることができていた

() 5. 病歴は完全で、重要な問題点をとりあげることができていた

III. 身体診察

() 評価しない(当科では評価対象外)

() 1. 必要な要素を省いており、重要な所見を見落としていた

() 2. 診察は不完全で、重要な所見の見落としが多くあった

() 3. おおよそその身体所見をとることができ、得た所見は有用であった

() 4. ほぼ完全な身体所見をとり、重要な問題点をあげることができていた

() 5. 詳細かつ完全な身体所見をとり、重要な問題点を全てあげる事ができていた

IV. カルテ記載

() 評価しない(当科では評価対象外)

() 1. 情報が不正確で断片的であった

() 2. 情報が散漫で焦点がぼやけていた

() 3. 情報量は正確かつ十分でおおむね整理して記載していた

() 4. 情報量は正確かつ十分で、系統的に記載していた

() 5. 情報量は正確かつ十分で、適切に整理され、完全であった

V. 問題解決能力

- 評価しない(当科では評価対象外)
- 1. 重大な欠陥があり、問題点を挙げることができず、誤ったアセスメントを行っていた
- 2. 問題点の把握が不適切で、アセスメントも不十分であった
- 3. 問題点の中で特に重要なものは把握でき、そのアセスメントはおおむね適切であった
- 4. 問題点を十分に把握し、そのアセスメントは適切であった
- 5. 問題点の把握とそのアセスメントは完全であった

VI. 症例のプレゼンテーション

- 評価しない(当科では評価対象外)
- 1. 全く整理されておらず、症例呈示は不的確かつ断片的であった
- 2. 整理は不十分、かつやや不的確で、問題点について提示も不十分であった
- 3. 正確でおおむね整理されており、問題点のアセスメントをある程度示すことができた
- 4. 正確かつ整理されており、問題点のアセスメントを適切に呈示することができた
- 5. 正確かつ整理されており、問題点のアセスメントを提示し、討議することができた

VII. 積極性

- 評価しない(当科では評価対象外)
- 1. 自分の不十分さに自覚がなく、何事にも受け身的で、助言を拒否していた
- 2. 指摘されたことに対しては反応するが、率先して行動することに抵抗があった
- 3. 指摘されたことに対して改善に努め、適宜率先して行動することができた
- 4. 評価を受け入れ、常に自分を変えようと努力を行っていた
- 5. 評価を自ら求め、常に自分から学ぼうと行動し、努力をしていた

VIII. 患者とのコミュニケーション

- 評価しない(当科では評価対象外)
- 1. 患者の欲求、感情、希望に対し配慮に欠けていた
- 2. 患者の欲求、感情、希望に対し配慮に欠けることが時にあった
- 3. 患者の欲求、感情、希望に対しおおむね配慮できていた
- 4. 患者の欲求、感情、希望に配慮した行動を常にとることができていた
- 5. 患者の欲求、感情、希望に配慮した行動をとり、患者と打ち解けるのにずば抜けていた、

IX. 医療チームの他のメンバーとの関係、協調性

- 評価しない(当科では評価対象外)
- 1. 協調性に重大な欠陥があり、診療チームのメンバーとして当てにならない
- 2. 時に対人関係でつまづき、診療チームのメンバーとしては不十分であった
- 3. 協調性があり、指導に関わる医師の指示に反応して行動できた
- 4. 良好な人間関係を保ち、診療チームのメンバーとして行動できた
- 5. あらゆる面において完全で、診療チームのメンバーとして有能であった

3. 学生に対する具体的なコメント(良かった点、今後の改善点など建設的コメント)